

綱町三井倶楽部で 表彰されました

代表取締役
榎原 弘之



TBSドラマ「天皇の料理番」をご覧になられた方はご存知の方も多いかと思いますが、明治43年にジョサイア・コンドル氏により設計された三井財閥の迎賓館「綱町三井倶楽部」。先月18日、こちらで弊社がリレーションシップパートナーとして活動している「チームM」の表彰式が行われました。バイオリン・ビオラ・チェロの弦楽三重奏に迎えられ、歴史ある佇まいの素敵なお部屋には、豪華な家具調度品、逸品揃いの美術品が飾られており圧巻でした。さすが、なかなか足を踏み入れることが出来ない、鹿鳴館に並ぶ世界に誇る迎賓館だなあといった感じです。また、優美な日本庭園と西洋庭園が織りなす絶妙な色彩が安らぎを与えてくれます。日常を離れた静寂な世界で暫し有意義なひとときを過ごすさせて頂きました。これもひとえに皆様のご愛顧と暖かいご支援によるものと深く感謝しております。



「チームM」とは…

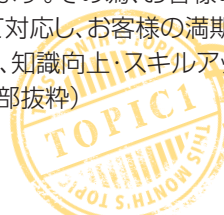
ここで少し「チームM」の紹介をさせていただきます。「チームM」とは、株式会社ウイムの松井先生を代表とした長期運用と複利運用、資産・時間・景気の分散運用提案を目的として発足された全国に広がるプロ集団です。世代を超えて、お客様の資産を守り・育てるスイスのプライベートバンカーを手本としています。その為、お客様の良き相談相手として、最初から最後まで一人の担当者が責任を持って対応し、お客様の満期(使う時期)までお付き合いすることをコンセプトとし、パートナー同士、知識向上・スキルアップ・サービス等の相互補完を行っております。(「チームM」案内より一部抜粋)

「資産形成」が合言葉

ただ、私たちは投機的なアドバイスは一切いたしません。あくまで複利運用を活用した長期運用であり、一時的に大儲けしようと思う方には向きません。それは、私たちがコンサルティングを行う資金の性質が「リタイアメント」、すなわち老後の資金を念頭においているからです。老後の時期は、皆平等に訪れます。そしてその為に準備をした資金は決して失ってはいけないお金なのです。これから先の未来はもちろん物価上昇することでしょう。昨今の金利情勢



からすると、貯めるだけでは足りません。元本保証の商品とリスク性の金融商品をバランス良く保有することが大切です。お金を合理的に分散し、世界経済の成長やインフレに負けないようにお金に自由に働いてもらう。それが、資産を育て、起こり得る財政破綻にも対応するのです。経済は生き物、常に変化し続けます。変化を楽しみ、変化に対応できるきめ細やかな工夫、これが「チームM」の信条です。そのお手伝いが私たちの仕事であると思っています。具体的な運用方法は、その方のお考えやご事情により、十人十色・百人百様です。4月1日から新年度という方も多いでしょう。ぜひこんな機会に皆様「リタイアメントプラン」を再考してみてくださいはいかがでしょうか？



知れば知るほど! ナルホド金融経済

いまさら聞けないマイナス金利(とその運用対策)

ファイナンシャルプランナー
松下 新



2月16日から日銀がマイナス金利を導入しました。いろいろと報道されているのでご存知の方も多いと思いますが、一度おさらいをしておきましょう。

マイナス金利とは通常預金をすると利息が付くのに対し反対に利息を支払うことを指します。今回日銀が導入したマイナス金利が適用されるのはとりあえず市中銀行が日銀に預ける準備預金のうち、法定準備金を上回る余剰分だけで、我々一般人が銀行に預金した際にマイナス金利が適用されるわけではありません(将来はわかりませんが)。その余剰分の預金に対し今まで日銀は0.1%の利息をつけていたのです。我々が銀行に預けた時の利息は0.025%前後(これが市中銀行の調達コスト)でしたので銀行はただ日銀にそのお金を移すだけで4倍のリターンを得ることができたのです。とんでもない話ですね。銀行は融資などの審査で労力を使うよりも単純に4倍のリターンで運用できるのでそちらを優先していたのです。従い、おカネが市中に出回らなくなり、経済的効果はほとんどなく、さすがにその状態は是正すべきだと今回のマイナス金利導入になったわけです。これにより銀行は今後日銀に預けるとペナルティを取られるので自分たちで儲けることを考えなくてはならなくなりました。

その結果、我々の預金の利率も下げられ、今では0.001%が普通になっています。なんと1年間1,000万円預けても利息はたったの100円です。そこから税金が取られるので手にするのは80円足らず。これは一体何を意味しているのでしょうか。

まさしくそれは安全資産で運用ができた時代の終わりを意味するのです。預金しただけではおカネは殖えるどころ



か資産を目減りさせてしまうのです。つまり今後はリスクを取らなければ資産を殖やせなくなったのです。

一方、マイナス金利は借り手にとってはチャンスでもあります。一般人にとり最大のメリットは住宅ローン金利が安くなることでしょう。新築、買替えだけでなく、リフォームにも使えますから。また、個人事業主の方にも朗報と言えそうですが、銀行の審査が相変わらず厳しく、住宅ローンのように担保がないとあまりメリットを享受することはできないかもしれません。いずれにしても今は借り手が有利であるということです。

しかし、できれば借金は作りたくないし、資産は殖やしたいというのが人情です。そういう心理状態を狙って今後高利回り商品が続々と登場する可能性があります。金利の低い日本ではなく海外の債券や株式を含んだファンドが出てくることでしょう。オーストラリアを除く先進国のほとんどが低金利のため新興国の債券や株式ファンド、また一時期流行ったデリバティブが組み込まれた仕組み物が再び登場する可能性もあります。

それらはマイナス金利対応商品として救世主のように登場してきますが、決して表面の利回りや「お薦め商品」に飛びつかず、じっくり内容を精査されるよう心がけていただきたいのです。そのファンドが一体何で運用しているかも調べずに購入するのは絶対にやめましょう。自分で理解できない金融商品を買うくらいなら自分の好きな銘柄の株式のうち配当の高いものを選ぶといいでしょう。また、こういう時こそドルコスト平均法で運用するのが正論ですし、個人的には金などの現物資産で運用するのもいい機会だと思っています。商品にもよりますが、リート(不動産投資信託)なども悪くないと思われます。

いずれにせよ重要なのは自分が取れるリスクの範囲、「リスク許容度」をしっかりと身につけることです。ご自分のリスク許容度を確かめたい方はいつでも弊社アドバイザーにご相談ください。



保険がわかる! か・ん・た・ん・Lesson!

「知っておきたい3つの保険」

ファイナンシャルプランナー
堤 太郎



現在、日本国内で営業している生命保険会社の数をご存知でしょうか?なんとその数は41社。各保険会社が販売している保険商品は数百種類にも及びます。これだけ多様な商品が販売されている中から皆さんは選択をしなくてはならないのです。しかし、実は大きく分けるとたった「3つの形」に分類されます。保険選びをする際にぜひ参考になさってください。

●定期保険

最初に「定期保険」をご紹介します。これは、保障される期間が決まっているタイプの保険です。「定期券」を想像して頂ければ分かり易いかもしれません。例えば、3ヶ月定期券の場合、3ヶ月経つと期限が切れ、更新をしないと使用できなくなりますよね。それと同じで、定期保険もその期間が過ぎると保障が終了します。商品によって更新できるものもあります。保険料がほぼ掛け捨てである代わりに保険料が安く、割安な保険料で大きな保障が取れるという特徴があります。お子様が成人されるまでの間など期間限定で保障の上乗せをしたいケースやとにかく安い保険料で保障が欲しいという方に人気です。

●養老保険

次に「養老保険」。これは、定期保険と同様、保障される期間が決まっていますが、保険料は掛け捨てではなく、貯まるタイプの保険です。保障と貯蓄の両方を兼ね備えています。特徴は、途中で解約をした場合に解約返戻金があり、満期には満期保険金が支払われるという点です。その為、学資保険など保障と貯蓄の両方が必要な場合に

多く用いられます。定期保険と比べると、同じ保障でも保険料は割高となります。

●終身保険

最後に「終身保険」をご紹介します。これは、養老保険同様、保険料が貯まるタイプの保険です。違いは保障が一生(終身)であるという点です。保険料の支払い期間は柔軟に選べます。支払期間を保障期間と同様にして保険料を抑えたり、短期間で保険料を支払ってしまうこともできます。保険会社ごとに最短期間は異なりますが、一生の保障に掛かる保険料を60歳や65歳といった現役世代のうちに払い終えてしまうこともできます。養老保険と違い満期はなく、保険料の支払が終了した後もご契約時の利率で運用されるため、時間の経過とともに元本よりも大きな解約返戻金を得ることが可能という特徴もあります。もちろん定期保険と比べると保険料は割高となりますが、保障が一生という点は安心感が高いです。また、解約返戻金を上手に利用することで長生きのリスクにも備えることができます。非常に使い勝手の良い保険といえるのではないでしょうか。

いかかでしたでしょうか。多種多様な商品が存在し難しいと思われがちな保険ですが、実はたった3つの形を基本としているのです。それぞれの特徴を生かして自身にあった保険を組み合わせることで、自分サイズの保険を作ることができます。ご相談などございましたらお気軽にお問い合わせください。

身体の中から福を呼ぶ?! 天然素材のこだわり 鎌倉カフェ「福」(ふく)

今回は鎌倉雪の下で見つけた素敵なカフェのご紹介です。店名の「福」(ふく)はお客様へも「福」が来るお店にしたいな、という気持ちが込められているそうです。

ランチは和食が中心で、毎日地元の野菜を使った手作りお惣菜、黒米御飯、アゴ出汁を中心に自慢のお吸い物がついています!

金運アップランチもご用意されています! 自然派ランチを鎌倉雪ノ下のゆったりした空気の中、身体から「福」を取り入れてみてはいかがでしょうか?

コーヒーはハワイアンコーヒーを使用、ハワイのポキ丼、明太子パスタなどの軽食等やアルコールもありました。お惣菜はテイクアウトもできるそうです。

ご来店の際、このニュースレターをお持ち頂いた方に!

お会計から10%オフ(2016年5月末日まで有効)



■お店情報
鎌倉「福」(ふく)

〒248-0005
神奈川県鎌倉市雪ノ下3-8-28
電話:0467-24-3211
営業時間:11時~19時
定休日:火曜日
★鎌倉駅より「岐れ道」バス停より徒歩1分

鎌倉
「福」



ライフプラン【みらいのお金のシミュレーション】を作ってみませんか？

ファイナンシャルプランナー
深川 恵理子



人生を楽しく過ごすには、この先の人生に必要なお金が分かっていることが大切です。お子さんの学びたい夢を叶えてあげるには教育資金がかかりますし、素敵なマイホームもできれば欲しいものです。その上で、老後資金もしっかり貯めていきたいですね。

人生の3大資金「住宅資金」「教育資金」「老後資金」を定期的にシミュレーションし、早めに準備することで大きく出費を抑えることができます。先送りではなく、「人生前倒し!」がお金に余裕のある人生の秘訣です。

また、独身の方やお子さんのいらっしゃるご夫婦の方も最近では増えてきました。

お仕事でも転職が当たり前の時代。起業される方やリタイア後も働き続ける方と百人百様です。

【みらいのお金のシミュレーション】をすることでより幸せな人生にしていきませんか？

●住宅資金

マイホームの購入には、頭金の準備や住宅ローンの借入れ、購入時期など早めの計画が必要です。購入した後も、住宅ローンの繰上返済で、完済時期の前倒しや、返済額の圧縮もし、無駄な金利を少しでも払わなくてもいいようにしたいですね。



●教育資金

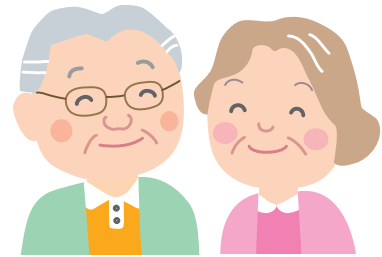
お子さん一人に1,500万~2,000万かかると言われています。

大学や専門学校などに通うお子さんが8割近い今では、大学まで通わせることを前提とし、お子さんの人数分が必要になってきます。お子さんが生まれてから準備を始められるのではなく、余裕のある新婚時代から始め、余裕をもって貯めてはいかがでしょうか。



●老後資金

公的年金ではまかないきれない老後の生活費。いつ亡くなるかわかりませんが、まずは平均寿命+αで考えてみてください。



誕生月に届く「ねんきん定期便」などを参考に将来もらえる年金額を想定し、時間を味方に付け、早めから少しずつでも始めて行きましょう。老後資金を考えることは、いくつまで働か、結婚はどうか、親御さんの老後はどうするかなどご自分の生き方を考えることにも繋がり、より幸せな人生を過ごしていただけます。

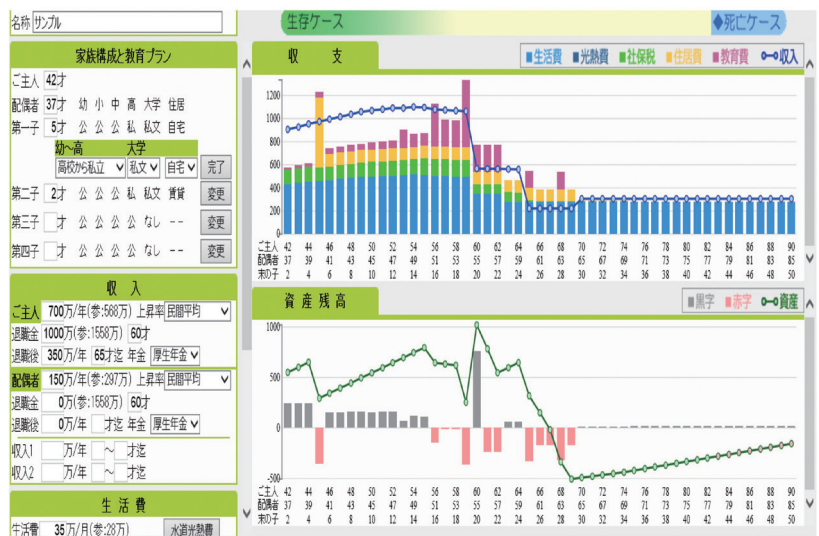
人生でお金を貯めやすい時は3回。

1. 独身時代
 2. 結婚してからお子さんに教育費がかかるまで
 3. お子さんが独立してから定年まで
- このチャンスを逃さず、しっかり貯めて下さいね。

【みらいのお金のシミュレーション】は簡単にお作りできます。

ぜひ弊社担当にお声かけ下さい。

安心で豊かなみらいをご一緒に作らせていただきます。



差出人・連絡先

アルシアコンサルティング株式会社

〒251-0023 神奈川県藤沢市鶴沼花沢町2-3 PHビル2階
TEL: 0466-54-8417 <http://www.arxia.jp/>

掲載内容等に関するお問い合わせは各担当営業まで。
禁無断転載 Copyright Two Way Communications Inc.